



ガバナー月信

vol.03 Sep / 2025



月信9月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② クラブ活性化セミナー
- ③ 大学担当者向け米山制度説明会
- ④ 白根RC社会奉仕活動
- ⑤ 地区大会のご案内
- ⑥ 財団委員会通信
- ⑦ 地区主要行事予定(9月・10月)
- ⑧ 新入会員紹介・訃報
- ⑨ コーディネーターニュース
- ⑩ ハイライトよねやま



国際ロータリー第 2560 地区
2025-26 年度

室賀ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574
ホテルイタリア軒 B1
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



ガバナーメッセージ

2025-26 年度ガバナー
室賀 信宏 (白根 RC)

新年度が始まり、毎日記録的な暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？どうぞお体を気づかいお過ごしください。

皆様にお知らせがございます。8月12日フランチェスコ・アレツツォ RI会長よりメールがありました。内容は RI 会長エレクトのユ・サング氏の辞任のお知らせです。ユ氏は4月に肺臓がんであることを発表され、治療に専念するため6ヶ月間 RI での活動をお休みすることを公表されておりましたが、この度医師より RI 会長の激務には耐えることができないとの判断を下された為の辞任であります。2年続けての RI 会長エレクトの辞任は私にとっては正に青天の霹靂でありました。ユ氏の一日も早いご回復と将来のご健康をお祈り申し上げます。

去る7月26日、ホテルオークラ新潟において、地区クラブ活性化セミナーが開催されました。会員増強、戦略計画、広報・公共イメージアップについてのセミナーです。会員増強は RI での一丁目一番地の課題でもあります。当地区においては石本委員長をはじめとした委員会のメンバーが大変参考になるセミナーを開催していただけました。特に石本委員長が作成されている、「クラブ健康診断書」は他地区で類を見ない、地区の宝といっても過言のない素晴らしい資料であります。参加されたメンバーは是非とも自クラブや他クラブの状況を把握し、自クラブのメンバーお一人お一人にお知らせし、自クラブの発展のためこの診断書を大いに活用していただきたいと思います。

さて、私は1週間の夏休みをいただき台湾に行ってきました。台湾ではかねてより友人が多数在籍しております、台北東海ロータリークラブの例会参加と、昨年度当地区に RI3740 地区より派遣された青少年交換学生モニカさんのホストクラブ朴子ロータリークラブの例会にも参加してきました。朴子ロータリークラブの本年度会長はモニカさんのお父様であります。海外クラブの例会参加はあらためてロータリーの世界的な広がりのすばらしさや、自分自身の RI の一員であることのすばらしさを感じるいい機会となります。また、新たな友人ができるとのきっかけとすることもできます。皆様も国内外を問わず、他クラブへのクラブ例会参加・メーキャップをお勧めいたします。



クラブ活性化委員会

2025-26 年度委員長

石本 隆太郎 (新潟 RC)

2022-23年・高橋G年度より会員増強・戦略計画・広報公共イメージ向上委員会委員長を拝命し、2023-24年・米山G年度、2024-25年・南雲G年度までの3年任期が終了。ガバナー月信最終号で、「RI・2560地区・会員増強・分区別クラブ別健康診断書」をもとに、3年間の総括をさせて頂きました。

2025-26年度・室賀Gより、もう1年、クラブ活性化委員会委員長をやるよう要請を受け、7月26日に「2025-26年度・地区クラブ活性化セミナー」を開催いたしました。その際に配布した参考資料をもとにしながら、過去3年間で達成できなかった「地区会員数:2,000名」の大台を目指したいと思います。

参考資料・1 会員増強クラブ別健康診断書

7月26日のクラブ活性化セミナーでは、前述の「2560地区・会員増強・分区別健康診断書」と共に、1992~93年の栗山G年度から、2025~26年の室賀G年度までの30年余りにわたる、**当地区の全クラブ**を会員数順に並べた「会員増強クラブ別健康診断書」を配布させて頂きました。このカラー表示表は、2006~07年の中條G年度に、小生が地区会員増強委員長を拝命した際に考案。会員増強全国1位達成のもととなった表ですが、爾来、毎年7月1日の会員数を基に順位を入れ替えながら更新しているものです。各クラブの会員数の増減を色別に表示することにより、クラブの健康状態が一目瞭然に分るようになっており、地区内クラブの会員増強の参考資料として、欠かせないものとなっております。

2020~21年の佐藤G年度から、2025~26年の室賀G年度までの5年間のクラブ別健康診断書を次ページに掲載しました。新型コロナウイルスによるパンデミックや、ロシアのウクライナ侵攻等もあり、日本全国、世界全体の会員数が減少。当地区においても、クラブ規模の大小に関わらず、会員増強に苦戦しているのが現状ですが、今年こそ、“2,000名の大台突破！”を実現したいと念願しております。

参考資料・2 クラブ活性化セミナー調査

昨年に続いて4月26日の地区研修協議会でアンケート調査を実施し、その集計表を掲載しました。会員増強率が95%以上105%というクラブが半数近くを占めており、例年、ガバナーが目標に掲げる“105%！”の壁の高さを痛感すると共に、**新クラブ拡大への積極的働きかけの必要性**を感じました。

「クラブビジョンと戦略(行動)計画立案」についても、1年交代人事等がネックになっており、**実施に漕ぎ着けたクラブは25%**。しかし、計画立案に取組かりたいというクラブも半数近くあり、成功しているクラブの事例等を参考にしながら、戦略計画委員会を中心に、さらなる啓蒙活動を進めてまいります。

「ロータリーの友」や「ガバナー月信」等、対内広報媒体の活用も不十分のようありますし、今後はSNS等を効果的に使った対外広報活動にも、地区として積極的に関わってまいりたいと思います。

参考資料・1

2025.7.26(土) RI2560地区:クラブ活性化セミナー用配布資料

2020-21(佐藤G年度)~2025-26(室賀G年度) 7月1日現在会員数対比表

会員増強用参考資料 (会員増強・クラブ別健康診断書)

110%以上	作成責任者 石本隆太郎(新潟RC)
105%以上110%未満	1992~93年度・地区拡大委員長
95%以上105%未満	2006~07年度・地区会員増強委員長
85%以上95%未満	2011~12年度・ガバナー
85%未満	2022~25年度・地区会員増強委員長
	2025~26年度・地区クラブ活性化委員長

令和2年～令和3年				令和3年～令和4年				令和4年～令和5年				令和5年～令和6年				令和6年～令和7年				令和7年～令和8年						
新型コロナウイルス感染症(パンデミック)				2020年1月新型コロナウイルス感染症パンデミック				2022年3月～ロシアによるウクライナ侵攻				2024年4月～				2025年5月～				2026年6月～						
ガバナー				2020-21 佐藤ガバナー年度(S)				2021-22 高尾ガバナー年度(T)				2022-23 高橋ガバナー年度(U)				2023-24 米山ガバナー年度(V)				2024-25 南雲ガバナー年度(W)						
順位	R C名	7月1日現在 会員数	女性 会員	S-R %	S/R %	7月1日現在 会員数	女性 会員	T-S %	T/S %	7月1日現在 会員数	女性 会員	U-V %	U/T %	7月1日現在 会員数	女性 会員	V-U %	V/U %	7月1日現在 会員数	女性 会員	W-V %	W/V %	7月1日現在 会員数	女性 会員	X-W %	X/W %	
1	新潟南	98	3	-5	96	105	3	7	107	108	4	3	103	114	6	6	106	113	8	-1	99	114	8	1	101	
2	新発田	95	0	4	104	93	0	-2	98	88	0	-5	95	89	1	1	101	87	1	-2	99	90	1	3	103	
3	新潟	88	2	4	105	82	2	-6	93	79	2	-3	96	78	3	-1	99	78	3	0	100	73	3	-5	94	
4	直江津	71	7	7	111	69	6	-2	97	73	6	2	103	72	6	-1	99	73	6	1	101	73	6	0	100	
5	新潟東	63	9	9	117	62	8	-1	98	63	7	1	102	61	7	-2	97	62	7	1	102	66	11	4	106	
6	高田	76	5	17	129	72	5	-4	95	71	4	-1	99	68	4	-3	96	67	5	-1	99	65	3	-2	97	
7	長岡東	58	3	0	100	52	2	-6	90	52	4	0	100	54	5	2	104	60	9	6	111	56	7	-4	93	
8	三条	60	0	4	107	56	0	-4	93	55	0	-1	98	53	0	-2	96	54	0	1	102	54	0	0	100	
9	新潟西	38	2	1	103	39	2	1	103	38	2	-1	97	40	2	2	105	52	3	12	130	53	3	1	102	
10	中条	43	4	4	110	42	3	-1	98	44	3	2	105	48	3	4	109	49	3	1	102	48	3	-1	98	
11	三条北	60	3	0	100	58	2	-2	97	54	2	-3	95	52	2	-2	96	52	3	0	100	46	5	-6	88	
12	長岡西	52	5	-2	96	50	4	-2	96	49	3	-1	98	48	3	-1	98	49	3	1	102	46	2	-3	94	
13	糸魚川	41	2	-1	98	42	3	1	102	42	3	1	102	43	3	1	102	43	3	0	100	46	3	3	107	
14	柏崎	42	0	1	102	41	0	-1	98	40	0	-1	98	42	0	2	105	45	0	3	107	45	0	0	100	
15	新発田中央	45	4	-5	90	44	4	-1	98	45	4	1	102	45	4	0	100	44	6	-1	99	44	6	0	100	
16	長岡	49	4	3	107	45	3	-4	92	44	3	-1	98	46	3	2	105	47	5	1	102	43	5	-4	91	
17	佐渡南	40	5	-1	98	40	4	0	100	38	4	-2	95	36	3	-2	95	38	3	2	106	43	3	5	113	
18	燕	36	3	3	109	34	3	-2	94	33	2	-1	97	39	2	6	118	42	3	3	108	41	3	-1	98	
19	新潟万代	43	7	4	110	41	6	-2	95	42	7	1	102	43	7	1	102	40	6	-3	93	39	6	-1	98	
20	中条胎内	36	6	36	97	35	6	-1	97	36	7	1	103	37	7	1	103	39	9	2	105	39	11	0	100	
21	新発田城南	44	4	-3	94	40	3	-4	91	38	3	-2	95	38	4	0	100	39	5	1	103	38	5	-1	97	
22	柏崎東	46	3	-2	96	45	3	-1	98	43	3	-2	96	40	2	-3	93	41	2	1	103	38	2	-3	93	
23	村上	40	10	4	111	38	9	-2	95	39	9	1	103	39	9	0	100	38	9	-1	97	38	8	0	100	
24	三条南	45	2	-3	94	44	2	-1	98	35	1	-9	80	42	2	7	120	37	3	-5	88	38	3	1	103	
25	十日町	29	3	1	104	32	3	3	110	31	4	-1	97	31	4	0	100	28	4	-3	90	38	8	10	136	
26	新潟北	39	0	1	103	37	0	-2	95	35	1	-2	95	37	1	2	106	37	1	0	100	37	1	0	100	
27	新井妙高	32	1	-1	97	31	1	-1	97	35	1	4	113	32	1	-3	91	34	1	2	106	36	1	2	106	
28	柏崎中央	36	10	0	100	38	12	2	106	39	12	1	103	36	11	-3	92	35	10	-1	97	35	10	0	100	
29	水原	30	1	0	100	32	1	2	107	33	1	1	103	31	1	-2	94	33	2	2	106	35	2	2	106	
30	三条東	33	4	0	97	31	3	-2	94	32	3	1	103	37	4	5	116	34	4	-3	92	34	5	0	100	
31	白根	30	1	-1	97	29	1	-1	97	30	1	1	103	32	1	2	107	32	1	0	100	33	2	1	103	
32	分水	30	4	2	107	29	4	-1	97	29	4	0	100	31	4	2	107	30	4	-1	97	33	4	3	110	
33	糸魚川中央	33	0	-3	92	28	0	-5	85	27	0	-1	96	25	0	-2	93	27	0	2	108	32	3	5	119	
34	高田東	36	2	0	100	36	3	0	100	35	3	-1	97	36	3	1	103	33	2	-3	92	30	2	-3	91	
35	加茂	30	5	2	107	33	5	3	110	31	4	-1	97	29	4	-2	94	29	4	0	100	27	4	-2	93	
36	越後春日山	38	6	-2	95	35	5	-3	92	33	5	-2	94	33	4	0	100	28	4	-5	85	27	4	-1	96	
37	村上岩船	31	6	3	111	28	5	-3	90	27	5	-1	96	26	6	-1	96	26	6	0	100	26	7	0	100	
38	小千谷	28	2	-4	88	30	3	2	107	28	4	-2	93	31	3	3	111	27	2	-4	87	25	2	-2	93	
39	新津中央	26	2	-2	93	22	2	-4	85	26	3	4	118	26	3	0	100	27	4	1	104	25	4	-2	93	
40	雪国魚沼	24	3	-2	92	20	2	-4	83	25	3	5	125	26	3	1	104	27	2	1	100	25	2	-2	93	
41	吉田	26	3	-5	84	28	3	2	108	28	3	0	100	28	3	0	100	24	3	-4	86	24	3	0	100	
42	新潟中央	20	0	-2	91	21	0	1	105	18	0	-3	86	22	0	4	122	23	0	1	105	24	0	1	104	
43	巻	24	2	0	100	25	2	1	104	25	3	0	100	27	3	2	108	26	2	-1	96	22	2	-4	85	
44	豊栄	23	3	0	100	20	2	-3	87	23	2	3	115	25	2	2	109	23	2	-2	92	21	2	-2	91	
45	見附	22	1	2	110	21	1	-1	95	21	1	0	100	20	1	-1	95	20	1	0	100	20	1	0	100	
46	板尾	24	0	2	109	25	0	1	104	22	1	-3	88	21	1	-1	95	20	1	-1	95	19	1	-1	95	
47	村松	12	0	2	120	12	0	0	100	10	0	-2	83	12	0	2	120	15	0	3	125	19	1	4	127	
48	新津	17	0	-2	89	17	0	0	1																	

参考資料・2

RI 2560地区・クラブ活性化セミナー・アンケート調査・集計用紙

* 2022年3月26日のPETSの際、地区内クラブ会長予定者対象にアンケート調査を実施。

実施日 2025.4.26 RI第2560地区・研修協議会

* 2024年6月1日・地区研修協議会:第2セッションにて会員増強委員長予定者対象にアンケート調査実施。 第2セッション(クラブ活性化・戦略計画・広報公共イメージ)

* 2025年4月26日・地区研修協議会:第2セッションにて会員増強委員長予定者対象にアンケート調査実施。

作成責任者 RI2560地区・クラブ活性化委員長

石本隆太郎

設問1：ロータリークラブ入会歴

	会員数40人以上	20人以上～40人未満	会員数20人未満	*コメント：今回、クラブ会員規模別に委員長の入会歴を調べた。クラブ規模の大小にかかわらず、会員増強の委員長は、比較的の入会歴の長い会員から選ばれているようである。
イ 入会歴10年以上。	15人	17人	2人	
ロ 入会歴5年以上10年未満	6人	10人	0	
ハ 入会歴5年未満	7人	10人	1人	
2025年4月26日調査時:合計68人	28人	37人	3人	

設問2：年度初め(7月1日現在)の会員数

	2022年3月PETS調査時		2024年6月1日調査時		2025年4月26日調査時	
	2021年7月1日現在	2023年7月1日現在	2024年7月1日現在	2025年4月26日調査時	2024年6月1日調査時	2022年3月PETS調査時
イ 40人以上である。	21名	38.9%	25名	44.6%	28名	41.2%
ロ 20人以上40人未満である。	25名	46.3%	26名	46.4%	37名	54.4%
ハ 20人未満である。	8名	14.8%	5名	8.9%	3名	4.4%
合計	54名	100.0%	56名	100.0%	68名	100.0%

*コメント これまでの3回の調査でも、当地区は会員数20人以上40人未満のクラブが最多を占めている。
但し、地区研修協議会、クラブ活性化セミナーへの小規模クラブの参加者が少ない点を考慮する必要あり。

設問3：直近1年間の会員数増減率

	2022年3月PETS調査時		2024年6月1日調査時		2025年4月26日調査時	
	2021年7月1日現在	2023年7月1日現在	2024年7月1日現在	2025年4月26日調査時	2024年6月1日調査時	2022年3月PETS調査時
イ 110%以上	9	17.3%	9	17.0%	9	13.2%
ロ 105%以上、110%未満	4	7.7%	11	20.8%	15	22.1%
ハ 95%以上、105%未満	18	34.6%	25	47.2%	32	47.1%
ニ 85%以上、95%未満	10	19.2%	6	11.3%	9	13.2%
ホ 85%未満	11	21.2%	2	3.8%	3	4.4%
合計	52	100.0%	53	100.0%	68	100.0%

*コメント 会員増減率は95%～105%が最多。南雲ガバナー数値目標:純増5%以上達成はかなり高いハードル？

設問4：「各クラブ新規会員5%以上純増」の見通し

	2024年6月1日調査時		2025年4月26日調査時	
	2021年7月1日現在	2023年7月1日現在	2024年7月1日現在	2025年4月26日調査時
イ 年度末までに5%以上の会員純増を達成できる見込み。	10	17.9%	17	25.0%
ロ 年度末までに5%以上は無理だが、若干の純増は達成できる見込み。	27	48.2%	30	44.1%
ハ 年度末までに会員純増は期待できず、ほぼ横ばいに終わる見通し。	16	28.6%	16	23.5%
ニ 年度末までに会員純増は期待できず、会員減少になる見通し。	3	5.4%	5	7.4%
				68
合計	52	100.0%	53	100.0%

*コメント 各クラブの純増見通しも5%以上の達成に悲観的なクラブが多く、約四分の一しかない。
一方、ほぼ横ばい～若干純増の見通しクラブが3分の二以上を占める。

ホ 新クラブ拡大に取り組む計画がある。			1	1.5
ヘ 新クラブ拡大に取り組む計画は無い。			67	98.5

*コメント 会員増強に欠かせない“新クラブ拡大計画！”のあるのは一人(1クラブ?)だけであった。

地区内でも、新潟市、長岡市、上越市等の人口基板に余裕のある地域で、早朝クラブ、夜間クラブ等、多様な新クラブ設立への検討を初めていただくことを期待したい。

設問5：女性会員数の見通し

	2024年6月1日調査時		2025年4月26日調査時	
	2021年7月1日現在	2023年7月1日現在	2024年7月1日現在	2025年4月26日調査時
イ 年度終了まで女性会員は会員数の20%を上回る見通しである。	1	2.1%	10	14.7%
ロ 年度終了まで女性会員は会員数の10%を上回る見通しである。	8	16.3%	18	26.5%
ハ 年度終了まで女性会員は会員数の10%を目指して努力したい。	32	65.3%	34	50.0%
ニ 7月1日現在女性会員はゼロで、今後も女性会員の獲得は困難。	8	16.3%	6	8.8%
	49	100.0%	68	100.0%

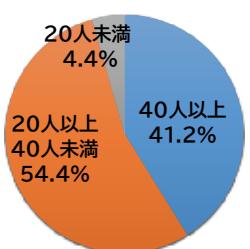
*コメント：前回調査に比べ、女性会員比率10%以上の見通しクラブは4割を超えたが、依然として、10%未満のクラブが6割近くを占めており、当地区においては、歴代ガバナーの掲げる数値目標20%の達成はまだ先のことである。

設問6：実行可能と思われる会員増強対策(複数回答可)

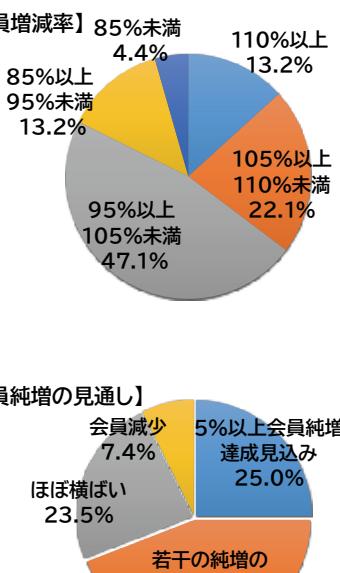
	2024年6月1日調査時		2025年4月26日調査時	
	2021年7月1日現在	2023年7月1日現在	2024年7月1日現在	2025年4月26日調査時
イ 対外的な奉仕活動を充実。地域社会からの評価を高めるよう努力。	24	23.3%	30	20.7%
ロ 例会時の卓話等を充実。会員の異業種交流の場としての質を高める。	22	21.4%	43	29.7%
ハ 夜の懇親例会や各種同好会活動を充実。会員同士の親睦を深める。	32	31.1%	41	28.3%
ニ 年会費や例会時間の見直しを図り、女性若年層の入会を容易にする。	24	23.3%	23	15.9%
ホ その他	1	1.0%	8	5.5%
	103	100.0%	145	100.0%

*コメント 例会の充実や親睦の場としての会員ニーズが、社会奉仕活動への会員ニーズを上回っているのは本音？年会費や例会時間の見直しで、女性や若手会員入会を容易にする案へのニーズが低いのも気になる点である。

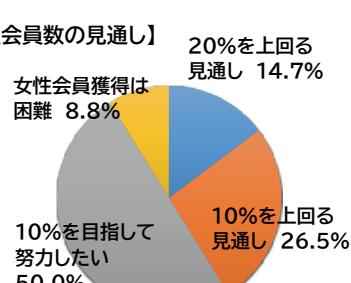
【会員数】



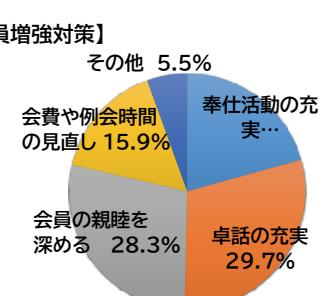
【会員増減率】



【女性会員数の見通し】



【会員増強対策】



設問7: クラブビジョンと戦略(行動)計画立案について

	2024年6月1日調査時	2025年4月26日調査時
イ 既にクラブビジョン策定や戦略(行動)計画立案に取りかかっている。	11	20.8%
□ 現時点では取りかかっていないが、計画立案に取りかかりたい。	30	56.6%
ハ クラブビジョン策定や戦略(行動)計画立案に取りかかる予定はない。	9	17.0%
二 その他、具体的に。	3	5.7%
	53	100.0%
	66	100.0%

*コメント：戦略(行動)計画に取掛かっているクラブは、まだ四分の一程度。取掛かりたいというクラブも半数近くあるので、地区クラブ活性化セミナーで成功事例クラブを参考に、行動計画策定にチャレンジするクラブを増やしたい。

設問8: クラブビジョンの策定や戦略(行動)計画立案について、何が一番ネックになっているか。

	2024年6月1日調査時	2025年4月26日調査時
イ 会員数減で、戦略計画策定に取り組む人的余裕がない。	11	25.0%
□ 1年交代人事のため、会員コンセンサスが得られない。	26	59.1%
ハ 情報提供や指導が不足しており、何から取り組んだらいいか。	7	15.9%
二 その他、具体的に。		
	44	100.0%
	64	100.0%

*コメント：ロータリーのクラブ会長には”1年交代人事というシバリ！”があり、継続事業の実行には困難が伴う。クラブ会長をロータリーライフの最終段階と考える会員も多いようである。クラブ会長就任はワンステップに過ぎず、地区への出向やクラブ継続事業への関わりを強めるためにも、会長就任年齢の若返りが必要である。

設問9: 「ロータリーの友」を、どのように活用しているか。

	2024年6月1日調査時	2025年4月26日調査時
イ 毎月の例会時において主要記事を広報委員が紹介。	23	41.1%
□ 例会時に配布するだけで、読むのは会員の自由に任せている。	33	58.9%
合計	56	100.0%
	66	100.0%

*コメント：「ロータリーの友」を読むのは会員任せというクラブが6割近くを占めた。それでは読まれない可能性が高いので、例会時等で、会長又は幹事、あるいは広報委員等が主要記事の紹介をするようにしていただきたい。

設問10: 毎月の「ガバナー月信」について。

	2024年6月1日調査時	2025年4月26日調査時
イ ガバナー月信の重要記事を、毎月例会時に紹介する。	12	21.8%
□ ガバナー月信がネット配信されてから、読むのは会員任せである。	43	78.2%
合計	55	100.0%
	64	100.0%

*コメント：ガバナー月信も読むのは会員任せのクラブが8割以上を占め、ほとんど読まれていない可能性が高い。ガバナー月信はガバナー始め地区委員会や他クラブの重要な情報源であり、会員に周知徹底を図る事はクラブ会長の重要な任務の一つであることを再認識し、例会時において重要事項等の紹介をすべきである。

設問11: Web サイトやSNSを効果的に利用することに対して。

	2024年6月1日調査時	2025年4月26日調査時
イ クラブ情報を、地区のFacebook等を活用して外部に発信。	18	34.0%
□ 現時点では、地区のFacebook等を活用する予定はない。	27	50.9%
ハ その他、具体的に。	8	15.1%
合計	53	100.0%
	71	100.0%

*コメント：昨年の東京都知事選や兵庫県知事選の結果から、広報媒体としてSNSの影響は目を見張るものがある。ロータリーが対外的公共イメージアップのためにも、これを活用しない手はない。前回に比べて今回の調査ではSNS等を活用しているクラブも増えつつあるが、地区としても既存のマスメディアと共に、SNS等を利用した対外広報活動への関わりを強めていきたい。

設問12: ポリオ(急性灰白髄炎)撲滅運動について。

	2024年6月1日調査時	2025年4月26日調査時	
イ ポリオへの寄付金以外、クラブとして具体的活動はしていない。		62	91.2%
□ ポリオ寄付金の他、市民と共にポリオ撲滅運動に取り組んでいる。		6	8.8%
合計		68	100.0%

*コメント：我国では既に”ポリオ”が撲滅されたこともあり、ロータリーがポリオに莫大な費用を費やしていることは、世間にはほとんど知られていない。

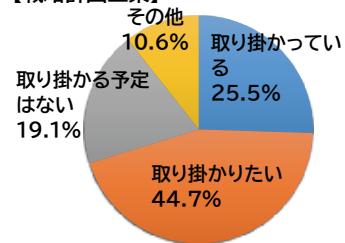
今回のアンケート調査でも市民と共にポリオ撲滅運動に取り組んでいると回答したのは6名(6クラブ?)だけである。ロータリー財団を通じて、全クラブがポリオ撲滅に對して相当の資金負担を強いられていることは事実であり、今後も地区や各クラブが、ポリオ撲滅運動にどのように取り組むべきか、ロータリーとしての公共イメージアップのためにも、現状を正確に把握して、真剣に議論をする必要があるのではないか。

2025.8.23 追記 END POLIO NOWニュースレター

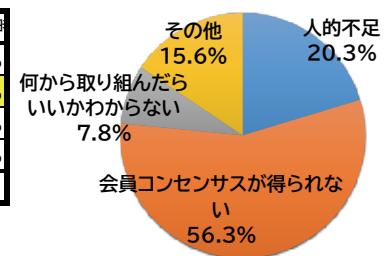
*ロータリーとゲイツ財団は、2025年のロータリー国際大会において、ポリオ根絶に向けた長年のパートーシップを更新。

ロータリーは年間5,000万米ドルの資金調達を継続し、ゲイツ財団から2倍の額が上乗せされ、3年間で最大4億5,000万米ドルが世界ポリオ根絶推進活動に充當されます。

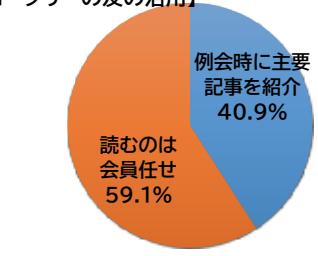
【戦略計画立案】



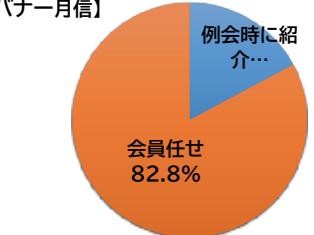
【戦略計画立案の懸念事項】



【ロータリーの友の活用】



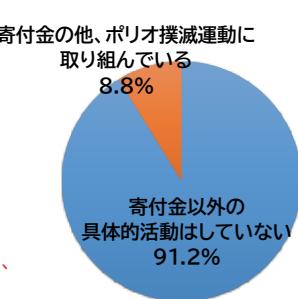
【ガバナー月信】



【Webサイト/SNSの利用】



【ポリオ撲滅運動について】





2026学年度 米山奨学制度説明会報告

米山記念奨学委員会
委員
長井 信栄 (柏崎東 RC)

2026 学年度の米山奨学制度説明会が 8 月 7 日 (木)、新潟市に大雨警報が発表され開催が危ぶまれる中、ホテルオークラ新潟にて県内 14 の大学・高専の担当者の方々をお招きし、開催されました。

はじめに、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事の高橋秀樹理事より、開催の挨拶として参加いただいた方々への御礼と米山記念奨学会の状況として、2026 学年度は米山記念奨学会から 2560 地区へ割り当てる奨学生の数が今学年度よりも 3 名少なくなった事、そしてその要因は毎年様々であるが今後、奨学生の割り当てを増やして行く上では、地区の努力もさることながら、奨学生に選ばれた本人の自覚と、それを支える大学関係者皆様のご理解とご協力が大変重要であって、是非皆様の大学より優秀で意欲のある、多くの学生のご推薦をしていただきたいと参加者へのお願いをされました。

次に、米山記念奨学委員会委員長の渡邊嘉子委員長より、参加者への御礼と、米山記念奨学制度の目的が「将来日本と母国、世界を結ぶ懸け橋となり国際親善に尽くす人材を育てる」為という趣旨の説明をし、経済的困窮を理由に推薦していかない事、選考基準としても評価していない事、そして奨学生になった場合の義務についての説明を行い、奨学生が安易な気持ちで義務を怠り奨学金の打ち切りといった事例も増す中で、学校側からも学内選考時のプロセスの確実性や、奨学生になった後も適切な指導をしていただきたいという要望をして、2026 学年度からの確約書の一部変更及び奨学生が義務行事に出席できなかった場合には、指導教員の方からも事由書の提出を求める事の追加説明を行いました。



その後、米山奨学事業を理解していただくために、米山奨学事業の成り立ちを説明するビデオをご覧いただき、続いて茂岡与士栄奨学生選考委員長よりパワーポイントを用いて、応募の手続きから選考プロセス、奨学生期間中の義務として毎月1回以上の世話クラブ例会への出席とレポート提出、奨学期間終了後の元奨学生の組織である学友会への参加などの説明を行いました。

最後に高橋秀樹理事より、補足として、米山記念奨学制度が求める学生には三つの要素が必要であり、一つ目は優秀である事、それは将来日本と奨学生の国との友好の懸け橋となるには、それなりの立場になれる人じゃないと意味がない。

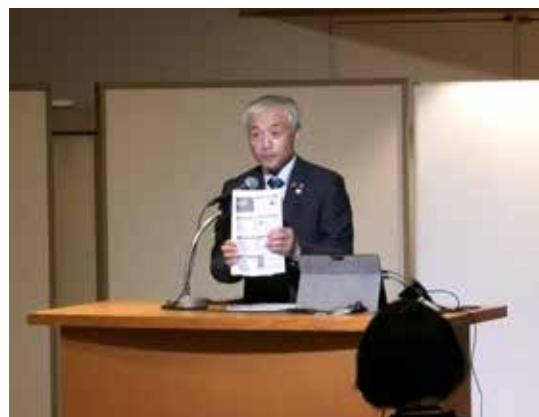
二つ目は日本人と日本語で積極的にコミュニケーションを取れる事、日本を知ろう、日本人と関わるといふ気持ちが重要であり、多少日本語が下手でも良いから日本語を前向きに学び関わろうという姿勢があるとロータリアンは応援したくなる。

三つ目はロータリークラブについて知っている事、ロータリーの精神や米山記念奨学制度の目的を知らないという事は、互いにミスマッチが起こりうる可能性があり、WEBで調べるなりして自分をなんで応援してくれるのかを理解しておいていただきたい事、更に近年小論文等に文章生成AIを使用して作成する事例が見受けられ、今後の選考については面接が主体となっていくという、お話しでした。

そして説明会の最後の質疑応答では参加者から熱心な質問が寄せられ、非常に有意義な時間となりました。

説明会終了後には米山記念奨学委員で集まり、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 小沢一彦名誉理事長の追悼ビデオを視聴させていただきました。

長年ロータリーの要職を務め、米山学友を宝と語った小沢一彦名誉理事長の情熱と功績に心から哀悼の意を表しますと共に当委員会も、ロータリアンによって選考される学生たちを大切にし、交流を通じて指導していく所存ですので皆様におかれましても、温かくご指導賜りますようお願い申し上げます。





わがクラブの社会奉仕活動 < SHIRONE RC >

地区副幹事

小林 謙 (白根 RC)

白根ロータリークラブは 2024-25 年度・2025-26 年度の重点施策として地域への奉仕活動を行っています。

1 つは白根第一中学校前の遊休地を「フラワーロード」と名付け、花いっぱいにする取り組みを継続中です。雑草だらけだった遊休地を何とかしてほしいと地域住民の声もあり、白根ロータリークラブが手を上げました。同クラブと白根ロータクトクラブ、地域住民とで協力して行っています。当初は生い茂った雑草、砂利などの混じった固い土に悩まされながらも少しづつ整備が進んできました。散歩して来られた住民からは「きれいになった」と評価も高くなっています。

2 つ目の奉仕活動は子ども農園の活動です。耕作放棄された畠を使って、会員有志が植え付けから収穫までの管理を行いました。春植えのじゃがいもは 7 月に収穫時期となり、最寄りの小学校に呼び掛けて登録した親子に参加してもらいました。当日は 30℃ を超える暑さが予想され、熱中症対策を万全にとりながらの開催となりました。テントを張り、水分補給を行っての収穫作業でした。収穫したじゃがいもは、参加者へのお土産となりました。秋作では大根やキャベツなどを植え付けしますが、こちらは主に子ども食堂や社会福祉協議会などに寄付しています。今期で 2 年目となります。引き続き地域への貢献度高い奉仕活動を行い、ロータリークラブの存在を高めてまいりたいと考えています。







ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2560

地区大会のご案内

～ロータリーで 善の循環を～

開催期間

2025
10/25・26

土日

会場

25日 ホテルイタリア軒
26日 ANA クラウン
プラザホテル新潟

ホストクラブ 白根ロータリークラブ

コ・ホストクラブ

新潟南ロータリークラブ 新津ロータリークラブ 村松ロータリークラブ
新津中央ロータリークラブ 阿賀野川ラインロータリークラブ

…記念講演…



講師：尾身 茂

所属 / 公益財団法人結核予防会 理事長
他現職 / 世界保健機関（WHO）西太平洋地域事務局長
自治医科大学名誉教授 NPO 法人「全世代」代表理事 独立行政法人地域医療機能推進機構
名誉理事長 ロータリー ポリオ撲滅アンバサダー

10月 26日

会場▶ ANA クラウンプラザホテル新潟
時間▶ 13:45 開演予定

演題：「ポリオ根絶」

【略歴】

1978 - 自治医科大学卒業（一期生）卒業後地域医療に従事
1990 - WHO西太平洋地域事務局感染症対策部長等
1999 - 第5代WHO西太平洋地域 事務局長
2009 - 自治医科大学地域医療学センター教授 WHO執行理事
2011 - 独立行政法人 国立国際医療研究センター 理事
2012 - 独立行政法人 年金・健康保険福祉施設整理機構 理事長
内閣官房新型インフルエンザ等対策有識者会議の長
2013 - 国立国際医療研究センター 顧問
2014 - 独立行政法人地域医療機能推進機構 理事長（現任）
2015 - NPO 法人「全世代」設立

2020 - 新型コロナウイルス感染症対策専門会議 副座長
新型インフルエンザ等対策有識者会議 新型インフルエンザ等対策分科会長
2021 - 新型インフルエンザ等対策推進会議長、新型インフルエンザ等対策推進会議 基本的対応方針分科会長、新型インフルエンザ等対策推進会議 新型コロナウイルス感染症対策分科会長就任。
2022 - 公益財団法人結核予防会（JATA）代表理事、
JCHO 名誉理事長。6月より JATA 理事長 現職。



室賀 信宏 ガバナー

善の循環を実現しよう！

2025年7月1日より始まりました本年度ですが、いよいよ地区大会が始まります。本年度のRIメッセージ「よいことのために手を取りあおう」の下、地区内各クラブにおかれましては、活発なロータリー活動の真っ最中だと思います。地区大会は各々の奉仕活動の成果をお互いにお祝いをするとともに、普段あまりお会いすることのできないメンバーが一堂に会し、旧友を温めあう場もあります。白根ロータリークラブの所属する第3分区は2560地区内最少人数の分区ですが、新潟南ロータリークラブのご協力により精一杯のおもてなしを考えております。また、記念講演といたしまして、世界保健機関（WHO）で西太平洋地域でのポリオ根絶に向けたプロジェクトを指揮し、ご活躍された尾身茂様をお迎えしご講演をいただきます。尾身茂様はロータリー・ポリオアンバサダーもお受けいただいております。どうぞ多くのメンバーがご参加いただき、ロータリーについて語り合っていただき、楽しんでいただきたいと思います。



五十嵐 繁 地区大会実行委員長

手と手繋いで創る友の輪♪

国際ロータリー第 2560 地区 2025-26 年度地区大会は、第 1 日目 2025 年 10 月 25 日に【地区指導者育成セミナー】を「ホテルイタリア軒」で行い、第 2 日目 26 日に【本会議】を「ANA クラウンプラザホテル新潟」で開催いたします。

本来でしたら、「白根」の地で行いところですが、残念ながら当地域には皆様が一堂に会する施設がありません。交通アクセスの好い新潟市の中心部で開催することとなりました。その代わりとなります、大会の様々な場面で「白根らしさ」を演出したいと考えています。会場には実物の大扇を飾ります。第1日目懇親会では、数々のピアノコンクールに入賞し、白根が誇る「小杉真二」さんのピアノ演奏です。第2日目では、新潟県にゆかりのある「尾身茂先生」のご講演で、当クラブのドクターが講師紹介をします。アトラクションには、新潟県内のアマチュアも参加する JAZZ ビッグバンドを企画しました。また、各食事には、白根特産のフルーツをご提供したいと考えています。

この地区大会が、県内のロータリアンが集い、多いに親睦を深めると共に、相互交流を高める場として活用されればと願っております。RI メッセージは「よいことのために手を取りあおう」です。♪手と手繋いで創る友の輪・・・♪の歌声が聞こえてきます。

是非、多くのロータリアンの方々にご参加いただけますよう、どうぞ宜しくお願い致します。

地区大会プログラム

10月 25日(土) 会場／ホテルイタリア軒

地区指導者育成セミナー

- 12:00 登録受付・開場
13:30 開会
点鐘
国歌斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱
来賓紹介
ガバナー挨拶
国際ロータリー会長代理挨拶
14:00 地区委員長の報告
前年度収支報告
監査報告
収支報告承認
14:50 休憩
15:00 講演(公益財団法人ロータリー日本財団理事 羽部大仁【RID2510PG】)
16:00 講演(公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事 高橋秀樹【RID2560PG】)
17:00 閉会
点鐘

国際ロータリー会長代理歓迎晩餐会

- 17:40 開場
国際ロータリー会長代理入場
ロータリーソング「我らの生業」斉唱
ガバナー歓迎挨拶
国際ロータリー会長代理挨拶
18:10 アトラクション(小杉真二 ピアノ演奏)
乾杯
歓談
ロータリーソング「手に手つないで」斉唱
19:30 閉会

10月 26日(日) 会場／ANAクラウンプラザホテル新潟

本会議・午前の部

- 8:30 登録受付・開場
9:30 開会宣言
点鐘
国歌斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱
歓迎の挨拶
RI会長代理並びに御来賓、
同期ガバナー、パストガバナー紹介
参加クラブ紹介(分区毎)
祝電披露
物故会員追悼
ガバナー挨拶
来賓挨拶
来賓挨拶
休憩
10:40 RI会長代理並びにRI会長メッセージ
大会委員会報告
大会決議案採択
各種表彰
2026年国際大会アピール
11:55 諸事お知らせ
昼食休憩

本会議・午後の部

- 13:00 活動報告
13:45 記念講演 講師：尾身茂様
14:50 休憩
15:00 講評並びに記念品、花束贈呈
RI会長代理講評
RI会長代理へ記念品及び花束贈呈
直前ガバナー、地区幹事、地区財務委員へ記念品贈呈
ガバナーエレクト、ガバナーノミニー紹介
ガバナーエレクト挨拶
ガバナーノミニー挨拶
次期開催地代表挨拶
ガバナー謝辞
点鐘
諸事お知らせ
15:30 閉会

ロータリー親睦交流会

- 16:00 開会
開会の挨拶
ガバナー挨拶
RI会長代理挨拶
16:30 アトラクション(新潟Yossy Big band JAZZ演奏)
17:00 乾杯
アトラクション(新潟Yossy Big band JAZZ演奏)
17:15 地区ゴルフ大会表彰式
ロータリーソング「手に手つないで」斉唱
閉会の辞
諸事お知らせ
18:30 閉会

地区大会記念

◆◆ 親睦ゴルフ大会 ◆◆

開催日

2025年
9月24日(水)・25日(木)

会場

湯田上カントリークラブ
〒959-1501
新潟県南蒲原郡田上町大字湯川2986
TEL:0256-57-3040

会場のご案内

25日 ホテルイタリア軒



〒951-8061
新潟市中央区西堀通7番町
1574
TEL:025-224-5111

26日 ANAクラウンプラザホテル新潟



〒950-8531
新潟市中央区万代5丁目
11-20
TEL:025-245-3333
FAX:025-243-0493

大会事務局

国際ロータリー第2560地区 2025-26年度 室賀ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町1574 ホテルイタリア軒B1
TEL:025-222-2561 FAX:025-222-2565 E-mail:n.muroga@rid2560niigata.jp



UNITE
FOR
GOOD



「世界でよいことをしよう」 財団委員会通信

ロータリー財団セミナーを開催しました

ロータリー財団委員会

副委員長 大竹 賢一（三条東 RC）

去る7月19日（土）、ホテルイタリア軒にて地区財団委員会主催の「ロータリー財団セミナー」を開催しました。各クラブの財団委員長、そして社会奉仕委員長と国際奉仕委員長も対象としたセミナーです。

これまで地区委員会では「ロータリー財団セミナー」を年に二回行っておりましたが、似たような内容を二度開催するのは如何なものかとの意見があり、変革を進めてまいりました。

今回は年度初めを「財団セミナー」として補助金のシステムや事例を学ぶ場とし、二回目を「補助金管理セミナー」として次年度のクラブ会長とクラブ財団委員長を対象に、ロータリー財団全般の説明、申請の方法、対象となる奉仕事業などを重点に置くこととしました。

当日のセミナーは挨拶の後、グローバル補助金事業の取り組みについて3つの事例発表を行いました。最初は高尾財団委員長の所属する新潟中央 RC の事例「グローバル補助金の拡大について」と題して、タイへの医療機器を贈るプロジェクトについて委員長自ら発表されました。

次に地区国際奉仕委員会 大澤副委員長から新潟西 RC の「国際奉仕の醍醐味～世界につながるロータリー～」と題して、タイの環境保全活動についての発表がありました。

3つ目はグローバル補助金奨学生です。新潟南 RC の推薦でオランダに留学した青木淳子さんに出席いただいて、事例発表をしていただきました。青木さんはグローバル補助金を申請しながら一度は断念したものの、二度目の挑戦で合格した稀なケースです。異文化コミュニケーションに苦労しながらも無事に修了され、現在は外務省に勤務し、ロータリー精神をもって職務にあたっておられます。

休憩の後、ポリオプラスの取り組みについて2つの事例発表がありました。

最初は高田 RC 所属の高坂さんの「なぜ、まだポリオ？」です。高坂さんは当地区で最もポリオに精通されたロータリアンであり、毎年のようにパキスタンに赴いてポリオの接種活動に参加されています。臨場感あふれる発表は、毎年度ポリオ寄付のお願いをなぜしているのか、どうして根絶しなければならないのか、参加者に伝わったのではないでしょうか。



次に三条南 RC 所属の永桶さんより「三条市内 4 クラブ合同のポリオ啓発と募金活動」の発表がありました。こちらは三条市内で行われたコンサート会場を利用して行った募金活動の事例です。当初はコンサートへの協賛という話だったものが、他の 3 クラブから「金は出せない」と突っぱねられ、そこからポリオの募金活動に繋がったというストーリーを面白おかしく説明されていました。ロータリーの公共イメージ向上にも一役買った活動であり、募金は 12 万円以上が集まり 4 クラブ等分でクラブの寄付実績ともなりました。

他クラブとの交流にもなり、クラブの新しい奉仕活動として、地区委員会としても是非参考にしていただきたい事例でした。

地区委員会では今年度より募金箱、のぼり、フラッグなど器材を準備しています。募金活動をお考えのクラブの皆様にはご連絡いただければ無償でレンタルしますのでお気軽に地区事務所までお問い合わせください。

終盤は現在進行中の各クラブにおける地区補助金事業の報告の上げ方など手続きの説明、そして 11 月の財団月間に合わせて外部卓話をご検討の皆様に、地区委員会への卓話依頼についての説明を行い、最後に新保第一地域 ARRFC より講評をいただいて閉会となりました。

最後になりますが、各クラブの皆様がロータリー財団の資金を積極的に活用し、地域社会だけでなく世界で良いことに取り組んでいただけるよう、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いし、セミナーの報告とさせていただきます。

第 2560 地区 2025-26 年度 7 月末 会員数報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2025年7月1日	7月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	/	-	378	380	45	2
新発田	3	32.2%	90	90	1	0
村上	4	23.1%	38	39	8	1
水原	4	31.4%	34	35	2	1
中条	4	100.0%	48	48	3	0
新発田城南	4	23.7%	38	38	5	0
豊栄	3	35.0%	21	20	2	-1
新発田中央	5	11.4%	44	44	6	0
中条胎内	4	52.5%	39	40	11	1
村上岩船	2	26.9%	26	26	7	0
第2分区(9クラブ)	/	-	453	466	37	13
新潟	5	36.8%	74	76	3	2
新潟東	4	18.3%	66	70	12	4
新潟南	5	37.6%	114	117	8	3
佐渡	4	66.7%	3	3	0	0
新潟西	4	64.3%	53	56	4	3
佐渡南	4	11.6%	43	43	3	0
新潟北	3	30.8%	37	39	1	2
新潟中央	4	37.5%	24	24	0	0
新潟万代	3	57.9%	39	38	6	-1
第3分区(5クラブ)	/	-	97	100	9	3
新津	4	62.5%	16	16	1	0
村松	4	63.2%	19	19	1	0
白根	5	29.4%	32	34	2	2
新津中央	4	40.0%	25	26	5	1
阿賀野川ライン	3	0.0%	5	5	0	0
第4分区(11クラブ)	/	-	343	345	33	2
三条	5	17.9%	54	56	1	2
燕	4	7.3%	41	41	3	0
加茂	4	14.8%	27	27	4	0
三条南	3	20.5%	38	39	3	1
分水	4	66.7%	33	33	4	0
見附	2	10.0%	20	20	1	0
吉田	3	0.0%	23	22	3	-1
三条北	4	19.6%	46	46	5	0
巻	3	9.1%	22	22	2	0
田上あじさい	4	16.7%	5	5	2	0
三条東	3	23.5%	34	34	5	0

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2025年7月1日	7月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	/	-	283	289	26	6
長岡	2	62.2%	43	45	5	2
柏崎	4	6.7%	45	48	0	3
長岡東	3	31.6%	57	57	7	0
柏崎東	3	21.1%	38	39	2	1
栃尾	4	26.3%	19	19	1	0
長岡西	4	20.0%	46	45	1	-1
柏崎中央	3	28.6%	35	36	10	1
第6分区(6クラブ)	/	-	117	118	12	1
十日町	3	26.3%	38	38	8	0
小千谷	3	14.8%	25	27	2	2
雪国魚沼	3	76.0%	25	25	2	0
十日町北	2	0.0%	9	9	0	0
津南	3	36.4%	12	11	0	-1
越後魚沼	2	50.0%	8	8	0	0
第7分区(7クラブ)	/	-	305	311	22	6
高田	3	38.5%	63	65	3	2
直江津	3	35.1%	74	74	6	0
新井妙高	3	21.6%	36	37	1	1
糸魚川	5	81.4%	45	45	3	0
高田東	3	51.6%	30	31	2	1
糸魚川中央	3	53.1%	30	32	3	2
越後春日山	4	81.5%	27	27	4	0

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,976 人
7月末会員数	2,009 人
女性会員数	184 人
純増減会員数	33 人
My Rotaryアカウント登録率	34.5 %

※ 4月末会員数の訂正
 新潟東 RC 67 人 (うち女性 8 人) ⇒ 67 人 (うち女性 12 人)
 第 2560 地区 2,027 人 (うち女性 180 人) ⇒ 2,027 人 (うち女性 184 人)

※ 5月末会員数の訂正
 新潟東 RC 67 人 (うち女性 8 人) ⇒ 67 人 (うち女性 12 人)
 第 2560 地区 2,039 人 (うち女性 181 人) ⇒ 2,039 人 (うち女性 185 人)

※ 6月末会員数の訂正
 新潟東 RC 66 人 (うち女性 8 人) ⇒ 66 人 (うち女性 12 人)
 糸魚川 RC 44 人 (うち女性 3 人) ⇒ 43 人 (うち女性 3 人)
 第 2560 地区 1,973 人 (うち女性 178 人) ⇒ 1,972 人 (うち女性 182 人)

地区主要行事予定

2025年8月21日現在

年	月	日	行 事	会 場
基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間				
2025年 (R7) 室賀年度	9月	1	(月) ⑥津南RC 公式訪問	(株)高橋工務所 2F
		2	(火) ⑤柏崎中央RC 公式訪問	割烹 三井田
		4	(木) ②新潟西RC 公式訪問	ホテル日航新潟
		6	(土) 室賀年度 第2分区IM (大野G補佐・新潟中央)	ANAクラウンプラザホテル新潟
		7	(日) アクトの日	三条市
		8	(月) ⑤柏崎東RC 公式訪問	ザ・シャンカーラ
		8~9	(月~火) 第1回ガバナーエレクト・ラーニング・セミナー (GELS #1)	パシフィコ横浜 会議センター他
		10	(水) 次年度地区ラーニングファシリテーターのためのセミナー	パシフィコ横浜 会議センター
		11	(木) ④見附RC 公式訪問	ホテルつるや
		13	(土) 室賀年度 第3分区IM (池野G補佐・新津)	割烹 梶形屋
		13	(土) 室賀年度 第5分区IM (斎藤G補佐・柄尾)	柄尾産業交流センター おりなす
		16	(火) ④田上あじさいRC 公式訪問	
		17	(水) ⑤柏崎RC 公式訪問	シユース雷音
		20	(土) 室賀年度 第1分区IM (小泉G補佐・新発田中央)	月岡温泉 ホテル清風苑
		20	(土) 第1回ガバナー補佐ラーニング	長岡駅周辺公共施設
		21	(日) 三年度三役会議・地区諮問委員会・2026-27富山年度結団式	NASPAニューオータニ
		22	(月) ⑦高田東RC 公式訪問	デュオ・セレッソ
		24	(水) 室賀年度 地区大会記念親睦ゴルフ大会 (第1~3分区)	湯田上カントリークラブ
		25	(木) 室賀年度 地区大会記念親睦ゴルフ大会 (第4~7分区)	湯田上カントリークラブ
		27	(土) 室賀年度 第4分区IM (青柳G補佐・燕)	燕三条ワシントンホテル
		27	(土) 室賀年度 第7分区IMゴルフ大会	
地域社会の経済発展月間・米山月間				
室賀年度	10月	1	(水) ⑤長岡東RC 公式訪問	ホテルニューオータニ長岡
		2	(木) ⑥小千谷RC 公式訪問	ホテルプラザ片山
		4	(土) 第1回米山記念奨学委員長セミナー	ホテルイタリア軒
		4	(土) 第2回ガバナー補佐ラーニング	長岡駅周辺公共施設
		5	(日) 第1回第一分区新発田エリア献血キャンペーン	イオン新発田店
		6	(月) ④三条南RC 公式訪問	三条信用金庫本店
		7	(火) ⑤柄尾RC 公式訪問	割烹 大覚
		8	(水) ⑥雪国魚沼RC、越後魚沼RC 合同公式訪問	
		9	(木) ①村上RC 公式訪問	大観荘 せなみの湯
		11	(土) 室賀年度 第7分区IM (小田島G補佐・糸魚川)	ホテル國富 翠泉閣
		15	(水) ⑥十日町北RC 公式訪問	十日町商工会議所
		16	(木) ④巻RC 公式訪問	ほたるの里交流館
		17	(金) ⑦高田RC 公式訪問	デュオ・セレッソ
		20	(月) ①新発田RC 公式訪問	割烹 志まや
		22	(水) ⑦新井妙高RC 公式訪問	新井商工会議所3階 大会議室
		23	(木) ④加茂RC 公式訪問	加茂市産業センター
		25	(土) 室賀年度 地区大会1日目／RI会長代理歓迎懇親会	ホテルイタリア軒
		26	(日) 室賀年度 地区大会2日目	ANAクラウンプラザホテル新潟
		27	(月) ①村上岩船RC 公式訪問	(有)住吉屋
		28	(火) ②新潟RC 公式訪問	ホテルイタリア軒
		30	(木) ⑦直江津RC、越後春日山RC 合同公式訪問	

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
村松	関塚 康史	2025.07.01	(株)関塚商事	代表取締役	燃料小売業
新潟南	大坂 美佳子	2025.07.02	(株)大善	取締役	飲食業
新潟南	杉浦 正樹	2025.07.02	(株)NFコーポレーション	代表取締役	警備業
新潟西	平原 太門	2025.07.03	BL00M shoelounge	代表	アパレル販売・服飾コンサルタント
新潟西	松田 大輔	2025.07.03	(株)エクスファーム新潟	代表取締役	補助金コンサルタント
新潟東	石添 宏	2025.07.04	(株)OUGIYA	代表取締役	セキュリティ機器販売・設置
新潟東	青木 雄太	2025.07.04	(有)山富	代表取締役	不動産賃貸業
新潟北	田窪 始郎	2025.07.07	明治安田生命保険相互会社 新潟支社	支社長	保険業
柏崎東	青木 健次	2025.07.07	(有)大日商会	代表取締役	廃棄物処理業
長岡	中村 友昭	2025.07.08	(株)第四北越銀行	執行役員	銀行
長岡	諫佐 健史	2025.07.08	東北電力ネットワーク(株)	長岡電力センター所長	電気・ガス業
新潟南	渡辺 真	2025.07.09	テンプスタッフフォーラム(株)	執行役員 総務人事担当部長	人材派遣業
柏崎	宮田 敏彰	2025.07.09	(株)宮田才吉商店	代表取締役	金属処理
柏崎	遠藤 泰裕	2025.07.09	(株)北野屋	専務取締役	スポーツ用品販売
柏崎	高橋 邦明	2025.07.09	明治安田生命保険相互会社 柏崎営業所	営業所長	生命保険
新潟東	横山 康之介	2025.07.11	クリッションド コンサルティング(株)	代表取締役	中小企業診断士
新潟北	近藤 忠	2025.07.14	(株)親和	代表取締役	解体業
高田東	大塚 忍	2025.07.14	大同紙器工業(株)	代表取締役	ダンボール製造
柏崎中央	山崎 昌利	2025.07.15	(株)ケンブリッジ	取締役	福祉施設関係
新潟東	鈴木 公雄	2025.07.18	(株)北越アローサービス	代表取締役社長	各種車両計器販売・修理
新潟西	佐藤 優子	2025.07.24	(株)ライフアシスト		保険代理業
新潟	白勢 啓仁	2025.08.19	白勢商事(株)	代表取締役社長	製油製品販売
新潟	長谷川 慎	2025.08.19	(株)ドコモCS	新潟支店長	移動通信事業
新潟	永井 修	2025.08.19	セコム上信越(株)	代表取締役社長	警備

【訃報】 ご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
村上	川崎 久	2025.08.15	有限会社カネダイ川崎商店	代表取締役社長	燃料販売	



第1地域 恒久基金/大口寄付アドバイザー 森川 昭正（仙台宮城野 RC）

去る 2025 年 4 月 27 日～29 日の3日間、エバンストンにある国際ロータリー本部において、2025 年度グローバル・フィランソロピー・セミナー (GPS ;Global Philanthropy Seminar) が開催されました。この GPS は新しく就任する E/MGA (恒久基金/大口寄付アドバイザー) 及び EPNC (ポリオ根絶コーディネーター) を対象としたセミナーで、今回は世界各地域の 2025-26 年度から就任する次期 E/MGA;20 名、次期 EPNC;16 名が参加しました。

E/MGA がロータリーの地域リーダーの一つの役目として初めて任命されたのは 2013 年です。その後、日本の 3 地域で基本的に 3 年おきに1名ずつが任命されてきました。第1地域では私が5代目の E/MGA となります。

今回のセミナーは、自身がガバナーエレクトとして参加した国際協議会以来のグローバルなセミナーで、かつ、世界のロータリーのトップリーダーの多くに出会い、交流するという大変貴重な経験でした。

ロータリー会員であれば多くが憧れるロータリー発祥の地シカゴ近郊にある”ロータリー国際本部”。

ポール・ハリスら4人が初めて会合を開いた部屋が再現された One Rotary Center の 1 階にある当時のポール・ハリスの事務所前には、ポール・ハリスの銅像が出迎えてくれている様に立っていました。

2 日半の GPS では、E/MGA として今後どのように活動していくのか、いかなければならぬのかを学びましたが、大きく以下の3つのことを学びました。

その一つはチームワークの大切さです。恒久基金/大口寄付の寄付者に限らず、財団への寄付への理解、促進するためには担当する地域、地区の RMC、RRFC、EPNC、RPIC、地区ガバナー、地区財団委員長、恒久基金/大口寄付小委員会委員長などとの連携が必要であり、また、前任者や他地域の関係者との連携も大事であることを学びました。二つ目としてはエンドポリオ、恒久基金/大口寄付への理解促進のためにストーリーが大切であるということです。自分の経験から自分の言葉で伝えることの大切さを学びました。そして3つ目はロータリーが提供しているツールを十分に利用することです。E/MGA として閲覧権限を与えられるデータについても関係者と情報を共有しつつ、寄付者へのアプローチに繋げられるように検討していきたいと考えています。

また、GPS 全体として感じたことは、主催している側も参加している側も、みんながフレンドリーで自由に発言でき、共感する雰囲気が出来上がっていたことです。そのお陰で、自分なりに各セッションの討議において積極的な発言ができたと思います。

このセミナーで学んだことを活かし、3 年間の責務を全うできるように務めたいと考えていますので、どうぞ皆様のご指導ご鞭撻、そして何よりも大口寄付へのご協力をお願いいたします。





私たちの生き方のエンブレム

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 神野 正博（七尾RC）

去る7月13日(日)に、毎年恒例の3地域合同公共イメージ向上セミナーを実施し、100人以上の各地区のリーダーに参加いただきました。信頼の証としてのエンブレム、すべてのロータリー活動が公共イメージ向上につながること、そして広報と公共イメージ向上の違いなどのお話を、公共イメージを向上する5つの事例の発表をいただきました。終了後のアンケートで、全体としては高評価であったものの、フリーコメントで、「地区の活動の参考になるように事例を多くしてほしい」旨の内容が多く、今後の参考にしていきたいと思います。

このセミナーを踏まえ、公共イメージ向上を一言で言えないか考えて見ました。ロータリー会員の皆様は、ロータリーにどんな人がいて、そして、成りたいロータリー会員像をイメージできるはずです。しかし、一般の人々はもちろん、これからロータリークラブに入会しようとする人々にそれが伝わっているでしょうか。そして、ロータリーのエンブレムを見たときに人々は何をイメージできるのでしょうか。人々は、ロータリーを世界で、日本で、地域でよいことをしている組織と認識してくれているのでしょうか。ポリオ根絶を目指す、平和を構築する、DEIを大切にする、環境問題を考える、貧困問題を考える、青少年をエンカレッジしている、海外からの留学生を支援している、リーダーシップを涵養しているなど、の組織と認識してくれているのでしょうか。ロータリーのエンブレムを見たときに、信用・信頼という言葉が出てくるのでしょうか。

もし、そうではないのならば、それを作り出すための奉仕と公共イメージ向上戦略が必要になるに違いありません。なぜならば、私たちはロータリー会員として、この組織に所属している意義と誇りを持ちたいからなのです。

そういう意味で、私たちが創り出さねばいけないのは、ロータリーのエンブレム=信頼の証なのではないでしょうか。あのエンブレムのラベルボタン、旗を見たら「信頼に足りる人たちだ。」と認識されるために、私たちはイメージを向上させる取り組みを人に見せ、一人一人が仕事で、日常で、そして奉仕で実践すべきなのです。まさに私たちの生き方、そのものになるかもしれません。





第3地域 ロータリー会員増強コーディネーター 中川 基成（あすか RC）

これをお読みのシニアロータリー会員の皆様が、あらためてロータリーのことをあまり知らない方々にロータリーへの入会を勧誘される場合どのようなお話をされるでしょうか？また、入会したもののロータリーに馴染まず退会を検討される方々には、どのような話をされるでしょうか？どちらも特別な個人事情もありますので、簡単な話ではないと思います。ましてや、ロータリーに対して誤解や思い込みなどがありますと、それを解いて正しく理解していただくのに苦労します。

その際に、最も大事にしたい基本的考え方は、つまるところ Enjoy Rotary ではないかと思います。では、ロータリーを楽しむとは具体的にどういうことでしょうか？

私は、ロータリーを学び、行動し、発信することを下の循環図のようにロータリー活動の中にとどまらず、それぞれの職場や家庭や生活の中で回していくことであり、ロータリーを楽しみつつロータリーの中核的価値(Core Values)が増大していくことと考えます。(この Core Values こそ正しく理解する必要があるのですが、ここでは紙面の関係上、私の解釈は省きます。)

ロータリーを通じて人としての生き方を学び、様々な奉仕を通じて地域社会や世界の平和に貢献して、ロータリーの価値に共感する仲間を増やしてロータリーの奉仕の輪を広げていくことができればロータリー活動は何と楽しいことでしょうか。



もう一つ、ロータリーを語るうえで大事にしたいことは、ロータリーのビジョン声明をよく味わい、その重要性を理解することだと思います。

Vision Statement:

Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change—across the globe, in our communities, and in ourselves.

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」

今年の会長メッセージ “Unite for Good” はこのビジョンの核心を端的に言い表したものです。

自分自身や自分の所属するクラブや会社・組織の中で良い変化を生み出すことに取り組むことで、より魅力あるロータリーを体現できるならば、それに共感する人々に対して、ロータリークラブへの入会勧誘や退会防止にも説得力を持って効果が期待できるのではないでしょうか。

いずれもロータリーを語るうえで、きわめてシンプルで基本的なことですが、改めてその重要性を再認識したいものです。





1 米山学友設立の日本式教育学校を天皇陛下が訪問

7月10日、モンゴルを公式訪問中の天皇陛下が、同国議員を務める米山学友のジャンチブ・ガルバドラッハさん(1998-99／山形北RC)が日本式教育を導入して設立した「新モンゴル学園」を訪問されました。

当日、同学園の学生・教職員代表らが日本語での校歌合唱などで天皇陛下を歓迎しました。ジャンチブさんからは、同学園の沿革や日本との関係、学生の日本留学実績、帰国後の活躍などについてご説明をし、多くのロータリー会員や山形市の仲間による支援で設立に至った経緯や、優秀な留学生に奨学金を支給している奨学財団について触れながら、「国づくりは人づくり」の考えの下、質の高い教育を行うために日本の教育をモデルにしていることをお伝えしました。



学園内を案内するジャンチブさん(左)

天皇陛下は、日本の教育制度がモンゴルの役に立っていること、多くの卒業生が日本留学を終えて帰国し、母国の発展のために努力しているという話に対して、喜びの意を表されたそうです。

全体で40分の訪問スケジュールの中で、天皇陛下は高校生の日本語の授業をご覧になり、生徒らが発表した夢や目標に対して感想を述べられ、生徒たちにいくつか質問をされました。

天皇陛下はジャンチブさんに対し、「良いことをしていますね。国の基礎は教育です。これからも日本とモンゴルの若者たちの交流を進めてください」と述べられ、握手とともに「新モンゴル学園の更なる発展をお祈りします」と激励の言葉を伝えられ、訪問を終えられました。

(写真はジャンチブさん本人より提供)



生徒から歓迎の花束を受け取られた天皇陛下

2 2026学年度奨学生の募集を開始

来年4月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区的米山記念奨学会委員会が選定し、当財団選考・学務委員会と常務理事会の承認を経て決定した指定校は、全国で609キャンパス(前年度586キャンパス)となりました。指定校からの被推薦者数は2,025人(同1,909人)で、この中から新規奨学生約680人が選ばれます。

今回、9校(同15校)が初指定校となりました。また、5地区(同5地区)が例会に通える範囲の地区外の26校(同15校)の大学を指定しました。さらに、大学・大学院以外を対象と

する地区奨励奨学生は、15地区(同13地区)39校(同38校)となっています。当財団からは8月5日に、全指定校宛にメールで通知しました。

各地区米山奨学会では毎年、学校説明会や学校担当者との懇談を行うなど、事業の目的に適う多様な人材を採用しようと努力しています。指定校からの応募締切は例年通り、10月15日となります。

※指定校一覧、募集要項・申込書式は、当財団ホームページにて公開しています。

3 寄付金速報 －2025-26 年度の始まりは－

前年同期比

-4.5%

普 -3.0% 特 -8.0%

2025-26 年度の最初の月となる 7 月末までの寄付金は約 2 億 375 万円でした。前年同期と比べて約 4.5 % 減(普通寄付金:3.0 %

減、特別寄付金:8.0 % 減)、約 980 万円の減少となりました。

過去には 2 億円に満たなかった年度もあった中、ご寄付いただきました皆さんに厚く御礼申し上げます。今年度も引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

4 多様性あふれる第 2580 地区米山学友会

7 月 5 日、第 2580 地区米山学友会定時総会・懇親会が東京都内で開催され、学友 26 人を含む計 69 人が参加しました。当日は、他地区からのロータリー会員や学友の姿が見られ、地区の枠を越えた交流の場となりました。

第一部の総会では、谷一文子ガバナーエレクトが来賓挨拶の中で、「当地区の学友会は、奨学期間を日本各地で過ごした学友が集まっており、まさに多様性を体現している」と述べ、学友のつながりの大切さを強調されました。また、当財団評議員である鈴木喬氏からも激励の言葉が送られました。続いて、活動報告、会計報告、



新役員選出が行われ、引き続き会長を務めることになった楊子明会長 (2002-03 / 東京新橋 R C) から、次年度の活動方針が発表されました。

第二部では、「ロータリアンのびっくりするところ」をテーマにテーブル討論が行われ、学友らが語る体験がロータリー会員の励みとなり、交流の意義を再認識する場となりました。

第三部の懇親会では、楽器演奏の披露や初参加会員の紹介、他地区学友会の発表などがあり、学友の所属地区や出身国は異なっても、「米山ファミリー」としての一体感が随所に感じられる総会となりました。

5 米山学友の活躍を紹介 『米山学友の群像 vol.6』 完成

当財団では、『米山学友の群像』と題し、巣立った米山奨学生たちが現在どのような活躍をしているのか、ロータリーでの体験が、その後の人生にどのような影響を与えたのか、奨学事業の成果を伝える広報資料として、2005 年から数年おきに発行しています。今回、その第 6 弾となる『米山学友の群像 vol.6』が完成しました。本冊子では、世界で活躍する学友や、学友会の活動などを紹介。米山月間資料として各クラブにお届けしますが、米山関連セミナー等での配布をご希望の方は、メール (highlight@rotary-yoneyama.or.jp) でご連絡ください。

